

主題『個人情報大切に！』

副題～インターネットで起きたトラブル事例から学ぶ～

さいたま市立与野八幡小学校

1. ねらい

生活の中で情報化がますます進展し、子どもたちも様々な情報機器を利用する場面が増えている。学級では、約4割の児童が自分の携帯を所持し、9割を超える児童が何らかの形でインターネットを利用した経験があった。さほど問題のある利用の仕方はなかったが、家のインターネットや携帯電話にフィルタリングサービスを付加していないと答えた児童がいたり、インターネットの危険に対する知識がほとんどない児童がいたりした。インターネットは便利なものという認識だけで、軽い気持ちで使用してしまっている児童がほとんどである。インターネットで起きた様々なトラブル事例を学ぶことで、ネットワーク利用の危険、個人情報の大切さを理解するとともに、個人情報を自分の手で守ろうとする意識をもたせ、対処法を考えることができるようにする。

2. 指導計画

- (1) 情報機器(PC や携帯電話)によるインターネットの利用経験のアンケートおよび話し合い
- (2) 個人情報を奪おうとする様々な手口の学習
- (3) ネットショッピング、チャットの疑似体験
- (4) 個人情報を守るための方法についての話し合い

3. 授業実践例

- (1) インターネットの利用経験アンケート及び話し合い
 - ・サイト閲覧や掲示板利用の経験の話し合い
 - ・アンケートによる児童の実態把握
 - ・「個人情報とは何か」についての話し合い

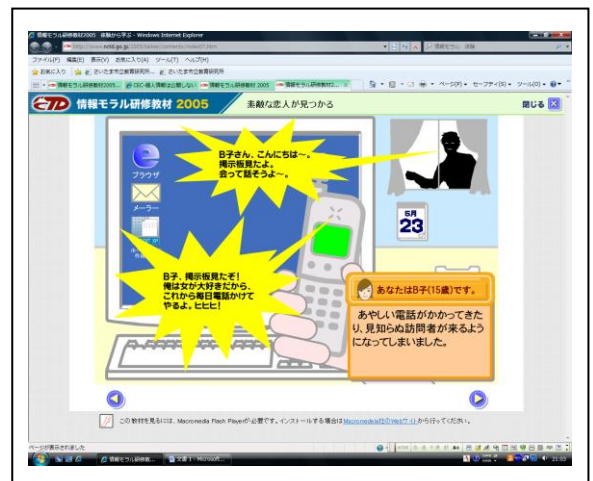


- (2) 個人情報を奪おうとする様々な手口の学習

・【財団法人コンピュータ教育開発センター 2011 年度版ネット社会の歩き方】、「住所や電話番号を教えるのは慎重に」および「個人情報は公開しない」を活用し、安易な利用により個人情報が悪用されてしまう事例を学ぶ。

- (3) ネットショッピング、チャットの疑似体験

・【情報モラル研修教材 2005 体験教材「チャット」「インターネットショッピング」】を活用し、インターネットを通じて個人情報を登録する疑似体験をする。



(4) 活動の振り返り

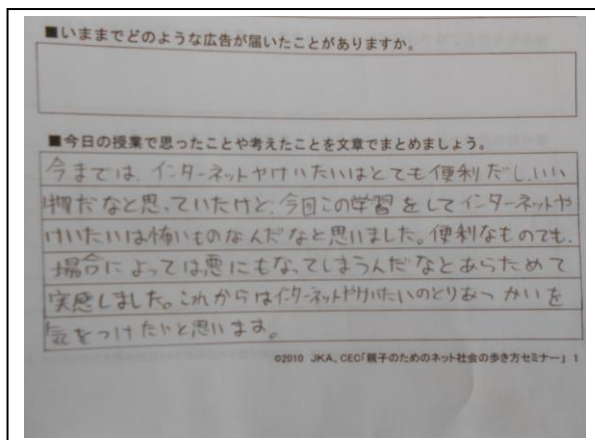
- ① チャットに名前が表示されたときどんな気持ちであったか。
- ② 本当に信用できるサイトであったのか。
- ③ 個人情報が出てしまったことで、どんな被害があるか。どんな対処をすればいいか。
- ④ 個人情報を守るためにはどんなことに気をつければよいか。

(5) 本時の学習感想を書く



4. 児童の学習感想

- ・今まであまり気にせずにインターネットを使っていたけれど、知らないうちに個人情報が使われるようなことがないように、注意して利用していきたい。
- ・実際に子どもも被害にあっている例を見ると、人ごとではないと思いました。
- ・ネットは使い方をしっかり知っておけば便利ですが、知らないととても危険な道具であることがよくわかりました。まだネットでの買い物はしないようにします。
- ・今日学んだことを弟や妹にも教えてあげようと思いました。また、そのようなサイトは大人と一緒に使おうと思いました。
- ・友達にさそわれたり、友達がプロフを書き込んでいても、惑わされないようにしたいです。
- ・私は自分用のパソコンを持っているので、考えずに「クリック」はやめようと思いました。
- ・今日の学習で、これからそういうサイトを見分けられるようにしていきたいです。



5. 成果と今後の課題

今や生活の中で不可欠となっている情報端末の利用は、大人だけの話ではない。正しく利用すれば便利なツールであるが、ただ便利だからといって安易に利用すると思わぬトラブルに巻き込まれる可能性もある。今回子どもたちは、トラブル事例の学習や疑似体験を行い、ネット利用の裏にはたくさんの危険が潜んでいることに気づくことができた。まだ、その知見は一部であるが、インターネットは気をつけて利用していこうとする意識を醸成できたのではないかと考える。個人情報に限らず、著作権やウィルスなど様々な事例を交え、あらゆる教科の中で情報モラルを意識化していきたい。